

春季火災予防運動 (3月1日(火)～同7日(月))

「おうち時間 家族で点検 火の始末」

住宅火災 いのちを守る 10のポイント

- ▶ 4つの習慣
- ①寝たばこは、絶対にしない、させない。
 - ②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
 - ③こんろを使うときは火のそばを離れない。
 - ④コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。
- ▶ 6つの対策
- ①火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろなどは安全装置の付いた機器を使用する。
 - ②火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
 - ③火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類およびカーテンは防災品を使用する。
 - ④火災を小さいうちに消すために、消火器などを設置し、使い方を確認しておく。
 - ⑤お年寄りや体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
 - ⑥防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

全国山火事予防運動

山に入る機会が増える春は、空気が乾燥し、枯葉や枯草も多いため、山火事発生の危険性が高くなります。山火事を防ぐため、枯草などのある場所や、強風時・乾燥時には、たき火をしないでください。たばこの吸殻は必ず消すとともに、投げ捨てはしないでください。

令和3年中 火災・救助・救急事案の発生状況 ※ () 内は令和2年中

消防本部警防課 ☎22-0337 FAX 22-9427

火災		救助	
火災件数	38件 (50件)	出場件数	53件
建物火災	19件 (26件)	火災	4件
林野火災	2件 (0件)	交通事故	21件
車両火災	1件 (3件)	風水害	0件
その他	16件 (21件)	水難事故	4件
死者	2人 (0人)	その他	24件

救急	
出場件数	5,654件
急病	3,914件
一般負傷	870件
交通事故	426件
その他	444件

※主な出火原因～多い順～
 令和3年：たばこ、たき火、放火(疑い含む)、こんろ
 令和2年：こんろ、たき火、たばこ、ストーブ

チケット情報

<p>ひこね市文化プラザ</p> <p>3月12日(土)11:30/15:30 グランドホール</p> <p>よしもとのお笑いライブ in ひこね</p> <p>出演者：中川家、ファミリーレストラン、スーパーマラドーナ、ココロチキチキベッパーズ、もも、エルフ、吉本新喜劇(すっちーほか)</p> <p>指定【好評発売中】友の会4,500円、一般5,000円 <small>※5歳以上または身長110cm以上のお子様はお席が必要となります。</small></p> <p>3月19日(土)14:00 エコーホール 小学生以上 託児あり(有料・要予約)</p> <p>中嶋俊晴カウンターテナーリサイタル ～Meine Liender わたしの歌～</p> <p>彦根出身、ソリストとして世界的に活躍中のカウンターテナー・中嶋俊晴の凱旋公演が決定。約10年ぶりとなるひこね市文化プラザでのステージで皆様を魅了します。</p> <p>自由【好評発売中】一般2,500円、友の会2,200円 シニア(65歳以上)2,300円 <small>※シニアチケットをご購入の方は、公演当日に身分証明書などの提示をお願いする場合があります。</small></p> <p>申込・お問い合わせ先 チケットセンター ☎27-5200 (9:00～19:00) チケットはインターネットでもご購入いただけます。https://bunpla.jp/ 3月の休館日：7日(月)、14日(月)、22日(火)、28日(月)</p>	<p>みずほ文化センター</p> <p>3月5日(土)14:00 多目的ホール</p> <p>アンサンブルMUSEがあなたに贈る すてきな歌の世界</p> <p>身近にクラシック音楽を届けたい!そんな思いのつまったコンサートです。</p> <p>自由【好評発売中】一般2,000円、青少年(25歳未満)1,000円 <small>※当日券は各500円増 ※3歳以上有料</small></p> <p>出演：<ソプラノ>高木充江、山本哲子 <チェロ>辻寛子 <ピアノ>今堀智子</p> <p>特別ゲスト出演：<フルート>森本英希(テレマン室内オーケストラ)</p> <p>3月20日(日)14:00 多目的ホール 小学生以上 託児あり(有料・要予約)</p> <p>彦根亭 みずほ密席 Vol.42</p> <p>お馴染みの松竹芸能の愉快な面々が笑いを届けます。</p> <p>自由【好評発売中】 前売500円、当日600円</p> <p>出演：トライアングル、笑福亭呂竹ほか</p> <p>申込・お問い合わせ先 みずほ文化センター ☎43-8111 (9:00～17:00) 3月の休館日：8日(火)、15日(火)、22日(火)、29日(火)</p>
--	--

【ひこね市文化プラザ各公演 発売初日の予約の取扱い】
 ※電話予約・インターネット予約のみの受付となります。
 ※窓口でのチケット引き取り・販売は翌開館日から承ります。

【ひこね市文化プラザ・みずほ文化センターでは、次の感染症対策を実施しています】▶館内設備の定期消毒 ▶手指消毒液の設置 ▶飛沫飛散防止カーテンの設置 ▶非接触型体温計の常備 ▶新型コロナウイルス感染拡大防止システム「もしサポ滋賀」の表示の設置

3月7日(月)まで
「雛と雛道具」
 井伊家13代直弼の愛娘弥十代(あしと)の雛と大揃いの雛道具を、地元の旧家に伝来した御殿飾りなどととも一挙公開。春の訪れを告げる恒例の展示です。

3月11日(金)～4月12日(火)
「合戦の現場－井伊家の軍勢と集団戦－」
 室町時代末期になると、敵味方が入り乱れた激しい戦いが各地で繰り広げられました。本展では、将の位置を示す旗や兵に指示を出す采配をはじめ、集団戦で用いられた武具を通じて合戦における井伊軍の実態に迫ります。

▲紙采配

■スライドトーク
【日時】3月12日(土)14:00～(30分程度)
【解説】当館学芸員 **【場所】**講堂
 ※無料(観覧料は別途必要)
 ※当日受付(先着35人、受付は13:30～)

私の研究最前線
 彦根城博物館の学芸員が、各自の研究テーマについて、日頃の研究成果を踏まえて解説します。

3月19日(土) 14:00～15:30
「彦根藩足軽組の組織構造」
 彦根藩の足軽は37組1120人からなる軍事集団で、藩主から物頭役を勤める藩士へ組単位で預けられ、治安維持など様々な役割を担いました。本講では、物頭の下に位置づけられた足軽組の内部構造を解き明かします。

▲足軽組諸届・願書留

【解説】当館学芸員 **【場所】**講堂
 ※資料代100円(観覧料は別途必要)
 ※当日受付(先着35人、受付は13:30～)

■【休館日のお知らせ】3月8日(火)
 ■3月9日(水)、同10日(木)は、展示替えのため一部休室します。

室町時代末期、いわゆる戦国時代と呼ばれる頃になると、敵味方が入り乱れた大きな合戦が日本各地で繰り広げられました。当時の軍勢は、時には数万を越す兵からなる大規模なものでした。このような大勢の人々に対し、進軍や攻撃などの指示を伝えるのに用いられたのが、音を使った指示具でした。

彦根藩井伊家文書の『正談記』には、関ヶ原の戦いの4年前にあたる慶長元年(1596)の年記をもつ彦根藩井伊家の軍法が収録されています。そこには、陣太鼓と法螺のほかに、拍子木、鐘など、音を出す道具を使った合図が記されています。これらは、具体的にどのような用いられていたのでしょうか。

例えば陣太鼓の例は、2件確認することができます。

一つは、合戦などの戦時における夜営と思われる「寝陣」における場面です。ここでは太鼓を三回に分けて打っています。その内容は、一番太鼓で起き、二番太鼓で身支度あるいは食事を済ませ、三番太鼓を合図に「押出す」、つまり攻め込むことを定めています。

もう一つは、軍勢が敵に近づいたときです。進軍の指示は、采配を振るうか、太鼓を打つことが示されており、この2種の道具以外の場合は、進軍を禁じています。

戦国時代以来、その必要性が増したと言われます。万が一、進退の合図を一齐に周知できなかった場合、軍は乱れ、果ては戦に敗れてしまう危険があります。そのため、大勢に合図を同時に届けることが可能な、音による伝達効果が効果的な方法として多用されたのでしょう。

【彦根城博物館学芸員 古幡昇子】

写真の古文書は、テーマ展「合戦の現場－井伊家の軍勢と集団戦－」で、3月11日(金)～4月12日(火)の期間、展示します。

なお、攻撃合図には陣太鼓のほか、拍子木と鐘の使用例も見受けられますが、これらは夜討(夜襲)に限られていたようです。また、出陣や攻撃開始の知らせとして『正談記』に登場しています。状況に応じて、4種の指示具をそれぞれ使い分けていたのです。

法螺は、井伊軍の場合、夜営中の襲撃に備える合図として『正談記』に登場しています。状況に応じて、4種の指示具をそれぞれ使い分けていたのです。

▲正談記

集団戦と合図の音

とまきの玉手箱

博物館からのメッセージ

第306回